

女性に対する暴力撤廃の国際デー：紛争下における性暴力を終わらせる 11月25日

2024/11/25

国連人権高等弁務官事務所

2023年に武力紛争で死亡した民間人の10人中4人は女性である。国連が確認した紛争関連の性暴力の件数は前年より50%増加し、武力紛争下で深刻な侵害を受けた少女の数は35%増加した。この数字は、今年、国連事務総長が発表した[女性と平和と安全](#)に関する報告書で強調された。こうした状況に鑑み、今年の「女性に対する暴力撤廃のための16日間活動」(11/25～12/10)では、この問題に焦点が当てられている。「紛争関連の性暴力は、国際人権法、国際人道法、国際刑事法の侵害である。長い間この問題が軽視されてきたことが、紛争下における性暴力に対する免罪意識を温存させてきた」と、国連人権局・女性の人権とジェンダー部門のチーフ、ハンナ・ウーは述べ、「紛争下における性暴力は深刻な人権侵害であり、サバイバーやその家族、地域社会に何世代にもわたって影響を及ぼす。説明責任のメカニズムがなければ、暴力は罰せられることなく続き、サバイバーは保護も正義も受けられない。このような暴力を防止し、国家に人権上の義務を履行させることは、すべての人々の責任である」と結んだ。